

2025 9.20 (sat) →
11.29 (sat)

東アジア文化都市
2025 鎌倉
CULTURE CITY OF EAST ASIA
2025 KAMAKURA

東アジア
文化都市2025
企画展



海でつながる
東アジアと鎌倉
— East asia and kamakura —

- 主 催 鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会)
- 開館時間 10:00~16:00(入館は15:30まで)
- 休館日 日曜・祝日・休日 ※展示替え・燻蒸休館(9月1日~19日)
- 観覧料 [一般] 400[300]円 [小・中学生] 150[100]円※
- 住 所 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
- T E L 0467-73-8501
- F A X 0467-73-8545

※[]内は20名以上団体料金
*本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
*身体障がい者手帳の交付を受けた方と付添1名、鎌倉市に通学している小学生から大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

海でつながる — East Asia and Kamakura —

東アジアと鎌倉

鎌倉は、日本の歴史上初めて本格的な武家政権が置かれた都市です。三方を山で囲まれ、一方が海で隔てられた要害の地として知られますが、海に面していたことこそ、中世都市鎌倉の発展を支えていたといえます。貞永元年（1232）には人工の港、和賀江嶋が築かれ、国内各地の製品だけでなく、中国など遠方からの輸入品も荷揚げされました。鎌倉は海を介して、東アジア諸国と結びつき、人や物、文化が往来・交流していました。

こうした東アジアからの輸入品は、まず日本の対外的な玄関口である博多に運ばれ、瀬戸内海を経由して鎌倉に運ばれました。市内の発掘調査でみつかる膨大な量の貿易陶磁器は、鎌倉が異文化にも敏感に反応し、受容した地であったことを示しています。

平安時代後期、平清盛が大輪田泊を整備し、中国との貿易に力を注いでいたことは有名です。大輪田泊は、鎌倉時代に入ると兵庫津と呼ばれ、港町として発展しました。大輪田泊や福原京に関連する遺跡からは、貿易陶磁器が出土し、平家の栄華を今に伝えます。また、大輪田泊の東方に位置し、京への輸送物資の集積地として栄えた大物浦付近からは、博多以外での出土は稀な「丁綱」と底部裏面に墨書された陶磁器がみつかっています。「丁」は中国人商人の姓名、「綱」は輸送する荷物の組単位を表すと考えられ、近年、鎌倉でも同じような「十綱」銘をもつ白磁壺が出土しました。わずか一点ではありませんが、中国と博多の延長線上に鎌倉が位置していたことを示唆します。本企画展では、市内出土の青磁や白磁、絞胎陶器などの貿易陶磁器のほか、博多遺跡群や兵庫の祇園遺跡・大物遺跡などから出土した貿易陶磁器を展観し、海によって結ばれた東アジアと鎌倉の交易をご紹介します。



青磁浮牡丹文大花瓶（建長寺所蔵）



A



B



C



D



E

A 鎌倉市指定文化財 青磁銘文壺
(太平寺跡出土・別願寺所蔵)

B 白磁四耳壺
(大物遺跡出土・尼崎市立歴史博物館所蔵)

C 神戸市指定文化財 琥珀袖小碗
(祇園遺跡出土・神戸市所蔵・神戸市文化財課写真提供)

D 巴文軒丸瓦・剣頭文軒平瓦
(祇園遺跡出土・神戸市所蔵・神戸市文化財課写真提供)

E 「丁綱」墨書陶磁器
(大物遺跡出土・尼崎市立歴史博物館所蔵)

鎌倉歴史文化交流館

開催期間 令和7年(2025)9月20日(土)~11月29日(土)
開館時間 10時~16時(入館は15時30分まで)
休館日 日曜・祝日・休日 ※展示替え・燻蒸休館(9月1日~19日)
観覧料 [一般] 400 [300] 円 [小・中学生] 150 [100] 円※
住所 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
アクセス JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
TEL 0467-73-8501 FAX 0467-73-8545
Eメール rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp



©Forward Stroke inc



※[]内は20名以上団体料金 * 本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
* 身体障がい者手帳の交付を受けた方と付き添い1名、鎌倉市に通学している小学生~大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。
* 一般用の駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。 * 障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。